



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月5日

上場会社名 ユニプレス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5949 URL https://www.unipres.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 吉澤 正信  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 斉藤 直樹 (TEL) 045(470)-8631  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	72,076	△8.4	1,240	△71.2	1,204	△73.7	872	△68.0
2019年3月期第1四半期	78,666	△1.6	4,303	△31.5	4,577	△34.0	2,724	△33.8

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 2,989百万円 (29.8%) 2019年3月期第1四半期 2,302百万円 (△53.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	18.35	18.35
2019年3月期第1四半期	56.91	56.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	258,028	162,069	58.2
2019年3月期	251,185	161,511	59.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 150,053百万円 2019年3月期 150,479百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	27.50	—	27.50	55.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	27.50	—	27.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	144,000	△11.7	6,000	△38.4	6,400	△36.2	3,500	△41.9	74.05
通期	295,000	△10.0	15,500	△23.0	16,000	△23.8	10,000	△22.3	212.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	47,991,873株	2019年3月期	47,944,973株
2020年3月期1Q	977,880株	2019年3月期	33,080株
2020年3月期1Q	47,516,293株	2019年3月期1Q	47,866,360株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、〔添付資料〕2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8
(企業結合等関係)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高につきましては、得意先の減産及び為替影響等により720億円（前年同期比65億円減、8.4%減）となり、営業利益は12億円（同30億円減、71.2%減）となりました。経常利益は為替差益が差損に転じたこと等により12億円（同33億円減、73.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億円（同18億円減、68.0%減）となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 日本

得意先の減産影響等により売上高は208億円（前年同期比39億円減、16.0%減）となり、セグメント損失（営業損失）は3億円（前年同期は22億円の利益）となりました。

#### ② 米州

販売用型設備の売上増等により売上高は249億円（前年同期比13億円増、5.9%増）となったものの、セグメント利益（営業利益）は生産台数が減少したこと等により2億円（同5千万円減、17.0%減）となりました。

#### ③ 欧州

得意先の減産影響及び為替影響等により、売上高は77億円（同22億円減、22.0%減）となり、セグメント損失は5億円（前年同期は1億円の損失）となりました。

#### ④ アジア

為替影響等により、売上高は185億円（前年同期比18億円減、8.9%減）となったものの、セグメント利益は合理化効果等により18億円（同1億円増、5.9%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が51億円、受取手形及び売掛金が55億円それぞれ減少したものの、たな卸資産が33億円、有形固定資産が107億円、無形固定資産が17億円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ68億円増の2,580億円となりました。

負債につきましては、長短借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ62億円増の959億円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が5億円減少し、自己株式が16億円増加したものの、為替換算調整勘定が17億円、非支配株主持分が10億円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ5億円増の1,620億円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.7ポイントマイナスの58.2%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、概ね予想の範囲内で推移していることから、2019年5月14日に公表いたしました予想を変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	31,605	26,414
受取手形及び売掛金	46,092	40,501
たな卸資産	26,976	30,334
その他	8,373	10,660
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	113,047	107,910
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,668	30,119
機械装置及び運搬具（純額）	53,694	56,483
土地	7,211	7,256
建設仮勘定	20,021	21,838
その他（純額）	12,245	16,886
有形固定資産合計	121,842	132,585
無形固定資産		
投資その他の資産	2,821	4,584
投資有価証券	6,880	5,980
その他	6,603	6,977
貸倒引当金	△9	△8
投資その他の資産合計	13,473	12,948
固定資産合計	138,137	150,118
資産合計	251,185	258,028
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,673	32,492
電子記録債務	3,803	4,557
短期借入金	12,339	17,634
未払法人税等	1,793	903
賞与引当金	3,226	1,465
その他の引当金	95	32
その他	21,790	21,207
流動負債合計	74,723	78,292
固定負債		
長期借入金	810	1,776
その他の引当金	223	150
退職給付に係る負債	7,406	7,567
その他	6,509	8,172
固定負債合計	14,950	17,666
負債合計	89,673	95,959

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,136	10,168
資本剰余金	13,465	13,498
利益剰余金	141,654	141,144
自己株式	△22	△1,660
株主資本合計	165,234	163,150
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△346	△405
為替換算調整勘定	△8,323	△6,575
退職給付に係る調整累計額	△6,084	△6,116
その他の包括利益累計額合計	△14,754	△13,097
新株予約権	25	—
非支配株主持分	11,006	12,016
純資産合計	161,511	162,069
負債純資産合計	251,185	258,028

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	78,666	72,076
売上原価	68,068	64,421
売上総利益	10,598	7,654
販売費及び一般管理費	6,294	6,414
営業利益	4,303	1,240
営業外収益		
受取利息	227	333
受取配当金	32	50
為替差益	29	—
持分法による投資利益	11	—
受取賃貸料	74	89
その他	80	75
営業外収益合計	456	549
営業外費用		
支払利息	127	130
貸与資産減価償却費	46	66
為替差損	—	296
持分法による投資損失	—	77
その他	9	15
営業外費用合計	183	585
経常利益	4,577	1,204
特別利益		
固定資産売却益	7	10
新株予約権戻入益	1	8
段階取得に係る差益	—	1,210
特別利益合計	8	1,229
特別損失		
固定資産処分損	6	64
特別損失合計	6	64
税金等調整前四半期純利益	4,578	2,369
法人税等	1,594	1,228
四半期純利益	2,984	1,140
非支配株主に帰属する四半期純利益	260	268
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,724	872

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	2,984	1,140
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△87	△56
為替換算調整勘定	△727	1,950
退職給付に係る調整額	259	△31
持分法適用会社に対する持分相当額	△126	△14
その他の包括利益合計	△682	1,848
四半期包括利益	2,302	2,989
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,917	2,528
非支配株主に係る四半期包括利益	384	460



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間において当社の持分法適用関連会社であったユーエムコーポレーションの株式を追加取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式944,800株(取得価額1,638百万円)を取得いたしました。この取得等により、当第1四半期連結会計期間末の自己株式は1,660百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

(米国会計基準 ASU 第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国連結子会社において、当第1四半期連結会計期間より、米国会計基準 ASU 第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。当該会計基準の適用が当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

この結果、従来の会計基準を適用した場合と比較して、当第1四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表において、「受取手形及び売掛金」が391百万円増加し、「流動負債」の「その他」に含まれております「返金負債」が391百万円増加しております。

(IFRS第16号「リース」の適用)

米国を除く在外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することといたしました。IFRS第16号の適用につきましては経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が1,053百万円増加し、流動負債の「その他」が296百万円及び固定負債の「その他」が801百万円増加しております。

当該会計基準の適用が当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

また、利益剰余金の当期首残高は64百万円減少しております。

## (セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	24,804	23,516	9,993	20,352	78,666	—	78,666
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,061	8	0	472	4,542	△4,542	—
計	28,865	23,524	9,993	20,824	83,208	△4,542	78,666
セグメント利益又は損失 (△)	2,276	304	△124	1,714	4,170	132	4,303

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	20,845	24,900	7,791	18,538	72,076	—	72,076
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,135	91	0	510	4,737	△4,737	—
計	24,980	24,991	7,791	19,049	76,813	△4,737	72,076
セグメント利益又は損失 (△)	△392	252	△570	1,815	1,104	135	1,240

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

当社は、2019年6月15日付で持分法適用関連会社であるユーエムコーポレーションの株式を追加取得し、子会社化いたしました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 UM CORPORATION S. A. S. (ユーエムコーポレーション)

事業の内容 車体プレス部品事業

② 企業結合を行った主な理由

ユーエムコーポレーションは、当社グループの欧州大陸における主要な生産拠点であり、今後の欧州事業の充実を図る上で重要な役割を担っていく拠点と位置づけております。

このたび、当社グループの欧州における事業基盤を強化し、投資判断、開発・生産対応を機動的に行うため、同社を子会社化することを決定いたしました。

③ 企業結合日

2019年6月15日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得した議決権比率

取得直前に所有していた議決権比率 40%

企業結合日に追加取得した議決権比率 20%

取得後の議決権比率 60%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したためであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

被取得企業の四半期会計期間の末日と当第1四半期連結決算日との差異は3ヶ月を超えないため、当第1四半期連結累計期間におきましては貸借対照表のみを連結しており、四半期連結損益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

企業結合直前に保有していた持分の企業結合日における時価 2,360百万円

追加取得に伴い支出した現金 1,180百万円

取得原価 3,541百万円

(4) 被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

段階取得に係る差益 1,210百万円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん金額

1,773百万円

なお、上記の金額は暫定的に算定された金額であります。

② 発生原因

取得原価が企業結合時の時価純資産額を上回ったため、その超過額をのれんとして計上しております。

③ 償却方法及び償却期間

投資効果の発現する期間を見積もり、合理的な期間で均等償却する予定であります。なお、投資効果の発現する期間については、現在算定中であります。

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、2019年7月8日開催の取締役会において、中国（武漢）に子会社を設立することを決議いたしました。

(1) 設立の目的

中国は世界最大の自動車市場となっており、今後も拡大が予想される中、各国の自動車メーカーが生産拡大しております。当社は既に広州、鄭州および大連に生産拠点を有しておりますが、ルノー・日産・三菱アライアンスをはじめとする武漢地区の自動車メーカーとのビジネス拡大を図るべく、武漢に子会社を設立することといたしました。

(2) 子会社の概要

①会社名	ユニプレス武漢会社 (英語名：UNIPRES WUHAN CORPORATION)
②所在地	中華人民共和国 湖北省 武漢市
③資本金	22,000千米ドル
④大株主	ユニプレス（中国）会社 100%
⑤事業内容	車体用プレス部品の製造及び販売
⑥設立	2019年8月（予定）
⑦操業開始	2021年3月（予定）
⑧投資額	60億円（予定）